



7 月号 2022-2023
No. 541

西条

第 62 代会長スローガン 「和の心で WE SERVE」

キーワード 「躍進」



第 61 代会長から第 62 代会長へ 『 キーの伝達式 』



ライオンズクラブ国際協会 336-A地区
2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌

テーマ 「 We Serve (我々は奉仕する) 」
 メッセージ 「 Together We Can 」 (皆でやればできる)



国際会長ピン

スローガン 「 感謝を込めてウィサーブ 」
 キーワード 「 不易流行 」



ガバナーピン

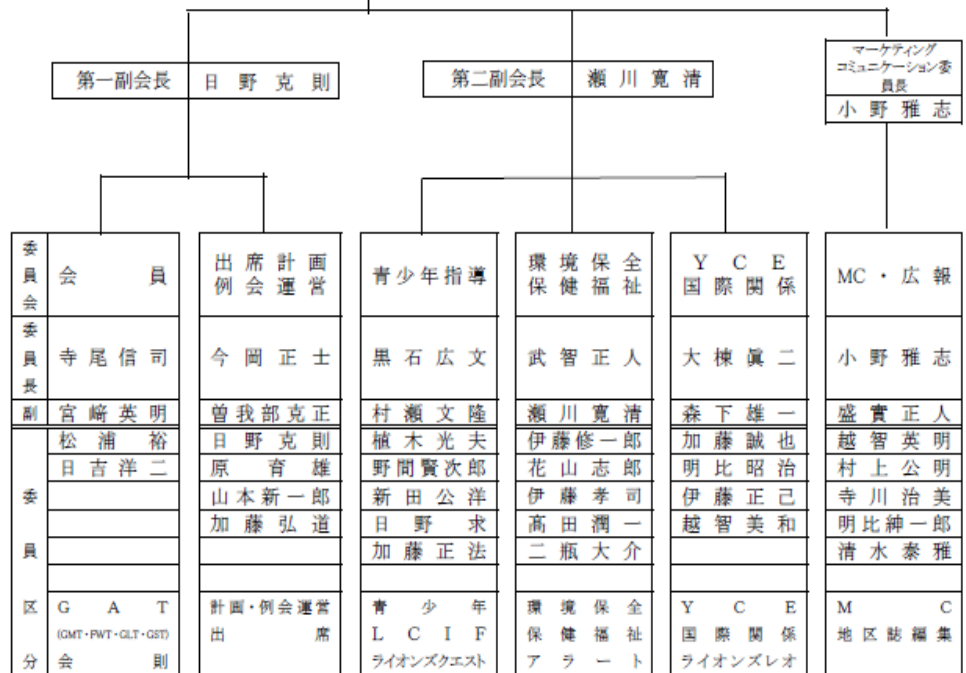
2022-2023年度
 西条ライオンズクラブ組織表

第62代クラブ会長 伊藤 稔
 スローガン 「 和の心で WE SERVE 」
 キーワード 「 躍進 」



理事会	
会長	伊藤 稔
前会長	曾我部克正
第一副会長	日野克則
第二副会長	瀬川寛清
幹事	高橋 学
計	高橋 雅顕
ライオン・テマ	岩間 勝一
テール・ツイスター	永易 修治
会員委員	寺尾 信司
理事	花山 志郎
理事	原 育雄
理事	植木 光夫
理事	今岡 正士
理事	黒石 広文
理事	武智 正人
理事	大棟 眞二
理事	小野 雅志
監事	加藤 誠也
監事	二瓶 大介
終身会員	瀬川 大秀
終身会員	神野 顕彰
優待会員	伊藤 陸治

会長	伊藤 稔
幹事	高橋 学
会計	高橋 雅顕
ライオン・テマ	岩間 勝一
テール・ツイスター	永易 修治



- スポーツ同好会部長
- ゴルフ部部長
- 萬條教室同好会代表

- 高橋雅顕
- 宮崎英明
- 盛實正人

LCIFコーディネーター	曾我部克正
IT担当委員	植木光夫

スポーツ委員会	
委員長	高橋 雅顕
副委員長	日野 克則
委員	加藤 弘道
委員	植木 光夫

第62代会長 伊藤 稔



この度、第62代会長をご指名いただきました。西条ライオンズクラブの歴史は長く、1961年(昭和36年)10月19日に結成され、日本で334番目、愛媛で9番目という歴史があります。近年は、地球環境を取り巻く気候変動や自然災害、コロナ感染対策、戦争侵略などめまぐるしく環境変化しています。このような背景の中、「今、私たちに求められているものは何か。」「真のライオンズクラブ活動とは何か。」を探し求め、会長スローガンに掲げさせていただきました。

「和の心で WE SERVE」平和の和・人のつながりの和を大切に日々精進したく思います。この数年間、思うような活動ができず、歴代の執行部、クラブ会員の皆さんの悔しさをバネにして、みんなで WE SERVE の気持ちで頑張っていきましょう。そして、相互扶助の精神で新しい時代をみんなで乗り越えていきたいと思ひます。キーワードは、日々邁進していくという意味も込めて、「躍進」としました。

どうぞ皆さんからの叱咤激励で、この1年間ライオンズクラブ活動が、人生の中でも稔り多い年になるように頑張つてまいります。1年間ご指導ご鞭撻の程お願いいたします。

第62代幹事 高橋 学



今年度、伊藤稔会長の下「幹事」を務めさせて頂きます。

新型コロナウイルス感染は、2019年12月に初めて報告されてから、2年半の月日が経過しましたが未だに終息せず、今春から感染者数が少しずつ落ち着いて来た様に思われますが、延期した60周年関連行事が中止と成り「今期のライオンズクラブ奉仕活動等」への影響は残るものと思ひられます。

まだまだ続くこのコロナ禍の中、重量級へとパワーアップした伊藤稔会長のウエイトを下げないよう支えながら「今年度のライオンズクラブ奉仕活動や例会並びに各会議等」を、感染予防を図りながら実施開催に努めたいと思ひます。一年間よろしくお願ひいたします。

第62代会計 高橋雅頭



西条LC第62代の会計をさせて頂くことになりました。

クラブ5役からはすっかり縁遠くなつていた私ですが、伊藤稔会長に諭され(?)

この度、初めて会計を拜命することとなりました。

どんぶり勘定しかできない私ですが、褒められると伸びるタイプです。

皆様の大きな友愛につつまれながら、1年間職務を遂行することだけを考へて

がんばりたいと思ひます。何卒、ご指導、ご鞭撻、ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。



ライオン・テマー
岩間勝一

今期、ライオン・テマーになりました岩間です。執行部に入るのは2度目ですが1年間を通して何をやるか

把握ができていません。司会を務める、皆様の前にでる!!「えっ、私が・・(T T)」そんな気持ちです。不慣れで、1年間スムーズにできるのか不安ですが1年間、はこの気持ちでやります!「伊藤 稔会長の想いを胸に、突き進む!」皆様、宜しくお願ひ申し上げます。



テール・ツイスター
永易修治

今年度、テール・ツイスターを務めさせて頂くことになりました。

入会してまだ2年超の

若輩者ではありますが、お声かけをいただき、執行部入りをご承認いただいたことに感謝し、皆さまのお役にたてますよう伊藤稔会長のもと精一杯、務めていきたいと思ひますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。



2021-2022 年度を締めくくる、最終例会が開催されました。一昨年より延期をし、開催する予定となっていた「クラブ結成 60 周年記念大会」は中止という大変無念な結果になりはしましたが、この2年間はクラブメンバーがコロナ感染拡大のみならず、いろいろな局面に差し掛かる度話し合い、最善の策を練り工夫し、クラブのことを考え抜いた期間でもありました。残念で悔しい思いをしましたが、それだけではありません。この2年間の糧に新たな一歩をスタートできました。第 61 代曾我部会長の想いを継いで、第62代伊藤会長へクラブキーの伝達が行われました。



第 62 代伊藤執行部



例会純出席 100%賞 17 名

例会ではメンバーの功績を称え、また次年度への活動へと繋げていきます。皆さん、1年間お疲れ様でした

2021-2022 年度 クラブ運営・事業奉仕活動
《ガバナーズアワード》

17部門 で各賞を受賞しました



ツイスター協力賞 高橋L・今岡L/伊藤L



クラブ特別功労賞 明比L



MJF 賞 高橋L

地区年次大会出席努力賞



国際大会出席努力賞



次期会長より記念品授与



■各会合開催報告

4ゾーン年次会合 日時:2022年6月10日(金)
会場:Café ダイニング つじ丸

2リジョン年次会合 日時:2022年6月18日(土)
会場:リーガロイヤルホテル



会長
退任挨拶

第61代会長 曾我部克正

『伝承 そして 新たな時代へ』をスローガンにスタートしたこの一年。

コロナも終息し、60周年記念事業やクラブ事業も必ず実行してみせると、執行部一丸となり、調整いたしてきましたが、記念大会、いくつかの事業が実行できませんでした。

しかしそんな中でも、いくつかの事業を行えたこと、60周年の私の夢作文コンテストでは地区ガバナーズアワードで最優秀賞を受賞できたこと、これもひとえにメンバーみなさんのおかげです。

執行部の皆さんに支えられ、たくさん助けていただきました。感謝しかありません。思い起こせば、あっという間の一年間でした。次年度の伊藤稔会長には、すべての事業・活動が成功することを祈願いたします。

メンバーの皆様、一年間有難うございました。

幹事
退任挨拶

1年を振り返ってみると、本当にあっという間であったように思います。第61代幹事 植木 光夫

2年半におよぶコロナ禍での FAX 例会・理事会、会食無しの短縮例会など、通常の会やアクティビティなどは数える程しか出来なかったように思います。私自身、2回目の幹事でしたので多少の馴れか、平均年齢約50歳?の若手5役の中でのやり易さなのか、あまり役職をやり遂げた実感はないのですが、7月以降次第に気の抜けた気分になって行くのだと思います。最後にメンバーの皆さんの1年間の御協力に感謝して退任の挨拶といたします。本当に有り難うございました。

会計
退任挨拶

第61代会計 日野 克則

今年度は初めて三役の会計という役職をいただき勉強させていただきました。ライオンズクラブのお金の流れは、多少ですが理解できました。

今年もコロナ禍にあり、例会も含めていろんな事業の中止となりとても残念な一年でした。私の中で疑問に思ったことがあります。

一つは事業資金のことです。ライオンズ必携の中の第12章 クラブ事業資金の獲得 (1) 資金獲得事業の意義 ~ライオンズクラブにおける奉仕事業の資金は、資金獲得のための事業を行い、その純益を当てるのが本来のあり方です~と書かれています。ところが日本の多くのクラブは、会員の拠出金や会員の寄付金(ドネーション)に頼り、資金獲得のための事業はそれほど活発ではないようです。わが西条ライオンズクラブもそうです。国情の違いから来るものかもしれませんが、欧米のライオンズクラブでは「奉仕事業は資金獲得活動から始まる」と考えられていて奉仕活動をするために資金獲得事業をするようです。新しいモノ(事業)を作る事は仲間と知恵を絞り意見を出し合い、汗を出すことで友情の輪が深まると私は思います。自身の会社の新しいビジネスや自己研鑽にも繋がると思います。収益事業をなぜしないのか?そんな事を思いました。今後ライオンズクラブの運営にも役立つようクラブの活動に励んでゆきたいと思えます。曾我部会長執行部の皆様お疲れ様でした。クラブ会員さん、温かく見守ってくださりありがとうございました。

テーマ
退任挨拶

第 61 代ライオン・テーマ 越智 美和

コロナ禍で例会ができない、短縮例会に変更、色々な行事中止、結成 60 周年記念大会の中止とできない事の多い 1 年になってしまいました。そんな中でも例会に出席くださいました会員の皆様には感謝申し上げます。次期執行部の皆様には思いっきり行事ができる 1 年になりますよう祈念致します。1 年間、ありがとうございました。

ツイスター
退任挨拶

第 61 代テール・ツイスター 村瀬 文隆

昨年度に続き、本年度もコロナに振り回された 1 年間でした。例会も殆どが短縮例会になり、予定していたイベントも殆どが中止となったり…。なかでも、60 周年記念大会が予定通りにできなかった事は残念でなりません。ただ、60 周年記念例会として曲がりなりにも開催できたことは良かったと思います。個人的には、テールツイスターとしてではありませんが、60 周年記念事業の『わたしの夢』作文コンテストがガバナー特別賞として表彰され、年次大会の分科会において事業報告の榮譽をいただいたことは一番の印象として残っています。

いろいろと制限のある 1 年間ではありましたが、曾我部会長の人柄かと思いますが執行部の雰囲気もよく、笑いの多い役員会が印象的な楽しい 1 年間でした。最後になりましたが、皆様を支えられての 1 年間であったと思います。ありがとうございました。

シリーズ
伊予西条遺産

第十代(最後の)伊予西条藩主
松平頼英(よりひで)

松平頼英は、九代藩主松平頼学の五男として天保 14 年 9 月 22 日に誕生し、幼名を勇之進と云った。文久元年(1861 年)従四位下侍従に任ぜられ、翌年頼学の致仕(辞職)のあとをうけて、左京大夫となり、小将に進んだ。

4 人の兄や頼学の婿養子であった頼永の早世(若死)などにより、世子(あとつぎ)となる(十代西条藩主)幕末の内外ともに多事多難な時代、文久 3 年(1863 年)3 月、お国入りし西条領内氷見村森家、住吉屋に立ち寄った時の記録が残されている。

森家の「御用留帳」には「セツ半時に陣屋を御立。その日は曇り空。そここの桜が満開。林昌寺で半時ほど桜を御観になり、九ツ半時に森家に御成りになっている。

殿様はじめ奥頭取、御小納戸が同行された。御先番、御膳番、いずれも馬に乗ってこられた。…」とある。林昌寺の徳川家御霊屋を参拝後、西部地区西条領の視察や海防状況の点検などが同時に行われたことが読み取れる。明治元年 3 月、頼英は京都二条城北猪熊口柵門の警衛(警戒し、護衛すること)。

同 11 月には東京吹上御門の警衛、同じく 2 年には水道橋関の警衛を命ぜられている。

また、頼英は明治 2 年 4 月に版籍奉還を出願して許可を得た。

ここに十代 200 年にわたる、治績(政治上の功績)を全うし、封建藩政は終りを告げた。

同、6 月には西条藩知事に任ぜられたが、明治 4 年 7 月の廃藩置県によって本官を免ぜられた。

明治 17 年華族令が公布されて、頼英は子爵となった。

そして累進し、正三位に至った。明治 38 年 12 月 3 日没、享年 63 才の生涯であった。

出典:フリー百科事典「ウィキペディア」・西条誌 等

【幕末時代の西条藩の出来事】

西暦	和暦	出来事	
		江戸幕府	西条藩
1832年	天保 3 年		第 9 代 松平頼学(よりさと) 藩主となる
1835年	天保 6 年		・ 5 月 6 日 江戸から大船団で 106 年振りのお国入り
1842年	天保 13 年		・ 日野和照らが「西条誌二十巻」を完成
1853年	嘉永 6 年	13 代 徳川家慶(いえよし) 将軍となる	・ 三浦久太郎(後の三浦安)が西条藩の郡奉行の要職に就く
		米使節ペリー浦賀に来航、各所で尊王攘夷論	→ 紀州藩 13 代藩主徳川慶福(=14 家茂)の將軍擁立や
1858年	安政 5 年	14 代 徳川家茂(いえもち) 将軍となる	西条藩 9 代頼学の第 7 男頼久が紀伊藩 14 代藩主徳川茂承
1859年	安政 6 年	安政の大獄(井伊直弼)	として家督を継ぐ等功績が認められ、1864 年に紀州藩に
			転籍
1863年	文久 3 年	薩英戦争	第 10 代 松平頼英(よりひで) 藩主となる
1866年	慶応 2 年	15 代 徳川慶喜	
1867年	慶応 3 年	大政奉還	・ 三浦久太郎は、幕府を補佐する「紀州藩京都朝廷詰め公用人」左幕派として、大政奉還の場(二条城)に参加。



会報誌では、萬條克己先生のご指導をいただきながら、シリーズ「伊予西條遺産」を連載し、この1年間は江戸時代の約200年(1670～1867年)にわたる西條藩主松平家の功績やその時々で治世に関わった人物の偉業

を掲載してきました。その好奇心は尽きることなく、「百聞は一見に如かず」ということで、5月22日、初夏の日差しが眩しい中、現存する西條藩の史蹟(禎瑞新田・氷見)巡りを行い、昼食会では、先人の思いや時代背景で会話を弾ませ楽しい一時を過ごしました。



伊予西條遺産シリーズ 西條藩の禎瑞新田と氷見巡り(その1)

① 加茂川河川改修の立役者 入江常真の石碑 (神拝の観音水の公園)

元々の加茂川の流れは、八堂山の麓から、東方面の室川、御舟川、商店街、古川(現河川)、安知住(あんじゅう)から西泉新開の江川まで、乱流状態であった。現在のように、古川の流れ1本にまとめたのが、1661年足立重信の家臣で作事奉行として尽力した入江常真であった。堅固な堤防や堰を建設し、遊水池や土手を二重にして、加茂川の氾濫を防止する工夫がされた。なお、その名は現在の「常心」という地名の由来にもなっている。



入江常真の記念碑

② 禎瑞新田(夫婦樋橋⇒嘉母神社⇒竜神社⇒南蛮樋(大石樋))

禎瑞新田の一番南に位置する夫婦樋(みよとび)は、西泉新開(江戸時代初期の第1期西條藩主一柳氏の時代の干拓地)の一带の江川や猪狩川、神戸方面からの排水を一箇所に集めて4つの樋門*を構築した場所である。現在その地には、歴史的使命を終え、「みよとび橋」として残っている。

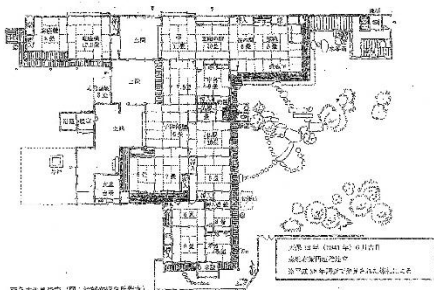
嘉母神社の手洗水は、1996年全国利き水大会で日本一に輝いた名水で、その水を汲みにたくさんの人が訪れている。第7代藩主松平頼謙から干拓事業の藩命を受けた竹内立左衛門も祀られており、同神社に建立されている「禎瑞新田之碑」には、賢明な主君(頼謙)とできた家臣(立左衛門)との出会いがあったからこそ完成し、広大な農耕地となった禎瑞新田の恩恵は極まりないと記されている。 *：樋門：



現在の「みよとび橋」

③ 住吉屋(森家)

西条市氷見の森家は、江戸中期以降、加茂川以西から今治近郊までの土地を所有し、二千石もの米を収納する大地主であり、金融業を営んで莫大な財を築いた商家でもあった。西條藩に対しては、上納金を納め、災害や飢饉による困窮者にはお救い米を施して藩を支援した。



住吉家(森家)間取り図

一方藩からは、庄屋格への昇格や苗字帯刀など家の格式を高めるといふ両者間での関係が成立していた。地面積：約3km²、建坪：200坪)し、文久3年(1863年)3月に、第十代藩主松平頼英公が当家に立ち寄った記録が残されている。



日本一の名水で乾杯(嘉母神社)



住吉家(森家)外観

重森氏による
石鎚酒造庭園



参考：造園家「重森三玲」氏による庭(石鎚酒造：越智家)⇒会員短信
昭和を代表する造園家で、200の作庭の内4庭が西条市に残されており、重森三玲夫人の実家である越智家との縁で、重森氏は、世界的に有名な彫刻家イサム、ノグチ氏を越智家に招き、同家にある庭で桂離宮をヒントにした庭造りの実技指導を行っている。



屋敷内で説明を受けるメンバー



西条ライオンズクラブ 会員募集中!

We Serve

◎ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。世界で約 200 以上の国または領域にあり 49,000 を超えるクラブが存在し、140 万人以上の会員がいます。あなたも世界の一員になりませんか。

◎西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブとして結成されました。「We Serve～我々は奉仕する～」を合言葉におなじ志をもつ仲間同士が集まって奉仕活動を行っています。人の為に、社会の為に、一人ではできないことを、出会いを通して集まった会員が力を合わせて、それぞれの地域において社会奉仕に貢献しているという団体です。



東日本大震災で被災した皆さんとの楽しいひとときを過ごしました。

2021-2022 年度 地区役員退任のご挨拶 代打のゾーンチェアパーソン

Thank
you!

2R-4ZC 高橋 学

就任を振り返って思う事は、代打のゾーンチェアパーソンが務まったかどうか自問自答中です。「西条ライオンズクラブ」より4ゾーンチェアパーソンを推薦するに当たり、当初「故 安藤ライオン」が受けることになっておりましたが、令和3年2月に逝去されました。そこで、当時無役の私にお鉢が回ったのだと思っています。

「故 安藤ライオン」のクラブへの多大なる功績を顧みますと、当然代わりは務まりません。あの世からお叱りを受けないように、私のできる範囲で努めさせて頂きました。(未だ少し残っております。)

コロナ禍の中、会議等思うように開催できずズーム会議等にて対応するなど工夫したつもりです。計画したゾーン合同アクティビティ「海岸線の清掃」「遍路道清掃」は概ね実施出来ましたが、複数回の例会訪問等は未だ叶いません。

6月30日、年度最終日にゾーンの皆さんと1年間の労を労い合い、笑い合った「4Z 合同慰労会」は皆様の御協力をいただき、とても楽しく思い出深いものとなりました。皆様、どうもありがとうございました。



編集後記



愈々今期最終の発行となりました。

長びくコロナ禍で、予定していた行事が中止や延期となる中、原稿不足で編集には本当に苦心しましたが、OB はじめメンバー各位の御協力を得まして、充実した内容で発行することが出来ました。

特に事務局の益田さんには毎度のことながら、大変お世話になり感謝しています。

そして、今期クラブ表彰に於て、ガバナー特別賞はじめ 5 個の金賞受賞他、過去にも勝る、沢山の賞をいただきました。こんな時だからこそ、メンバー各位が力を合わせた結果です。

さて、この先いつ終わるかわからないコロナ禍と、ロシアに依るウクライナ侵攻など、世界中が不安の中にあります。日々の報道を目の当たりにして、改めて、平和の意義が問われるこのごろです。

MC 広報委員 越智英明

発行者 会長 伊藤 稔
幹事 高橋 学
[MC・地区誌編集委員会]
委員長/副委員長 小野雅志/盛實正人
編集委員 越智英明・村上公明・寺川治美
明比紳一郎・清水泰雅
例会日 毎月 第1・第3火曜日(12:30~13:30)
例会場 西条商工会館
発行 西条ライオンズクラブ事務局
印刷 プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8
西条商工会館1F
TEL(0897)56-3980
FAX(0897)56-9251
E-mail saijo-1c@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://saijo-lions.jp
facebook http://facebook.com/saijo.lions/